

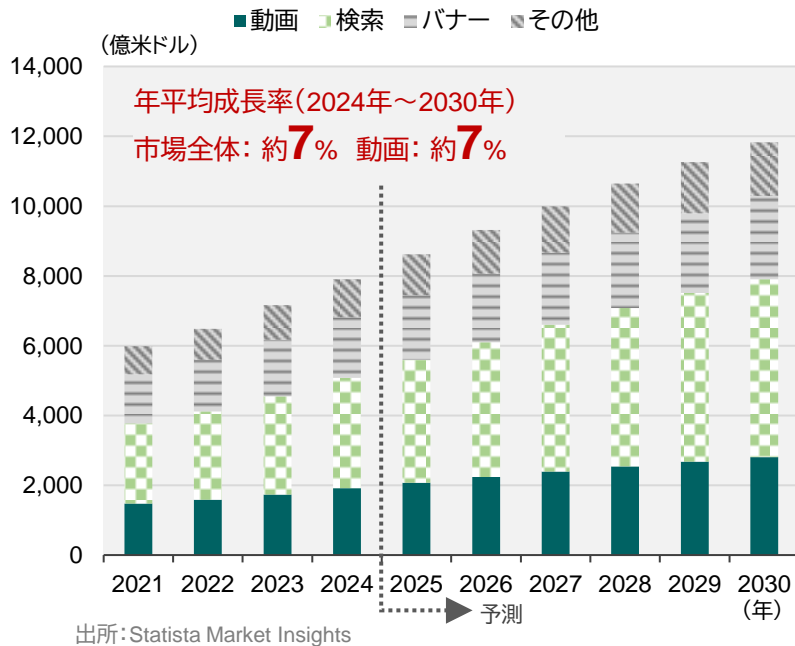
- 世界のデジタル広告市場は、今後も成長が予想されており、中でも出稿先として、視聴者が増加傾向にあるコネクテッドTV(以下、CTV)への関心が高まっています。
- CTVとは、動画配信コンテンツをTVで視聴するためにTVに接続する、またはTVに組み込まれたデバイスなどをいいます。
- CTVでは、ユーザーが主体となって視聴するため、ユーザーの好みなどを把握することができることから、広告主は適切なタイミングで適切なユーザーにアプローチできます。すでに米国では、動画広告の半数近くが、CTVで表示されています(2021年)。

デジタル広告市場

- 世界のデジタル広告市場は年平均約7%成長が見込まれており、CTVを中心とした動画広告は、年平均約7%成長が予想されています。

■ 世界のデジタル広告市場の推移

(2021年~2030年 ※2025年以降は予測)



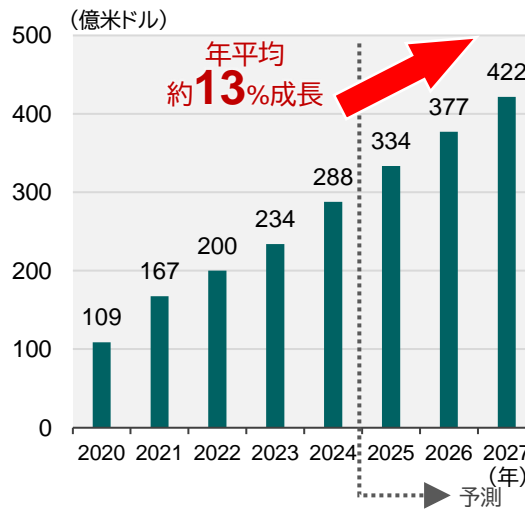
CTV広告市場 vs 従来型のTV広告市場

- 多チャンネル文化の米国では、近年、有料TVからストリーミングサービスへの移行が進んでおり、広告主も従来型のTV広告からデジタル広告へシフトする傾向がみられます。
- CTV広告は、広告業界のみならず、動画ストリーミングやCTV関連企業の収益源の一つとなっており、これら関連企業の成長を後押しするものと期待されます。

■ 米国のCTVにおける広告*支出の推移

(2020年~2027年 ※2025年以降は予測)

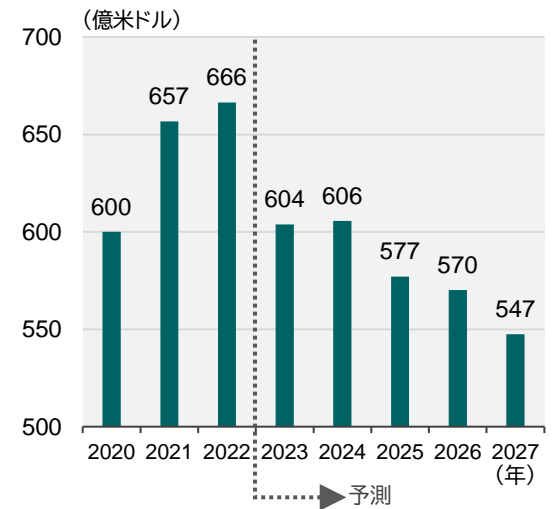
*ホーム画面に表示される広告のほかHuluやRoku、YouTubeなどのプラットフォームからCTVに表示される広告



■ 米国の従来型TVにおける広告**支出の推移

(2020年~2027年 ※2023年以降は予測)

**放送テレビとケーブルテレビで表示される広告



※上記は過去のものおよび予測であり、将来を約束するものではありません。※公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。情報の正確性・完全性について当社が保証するものではありません。ページ記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。